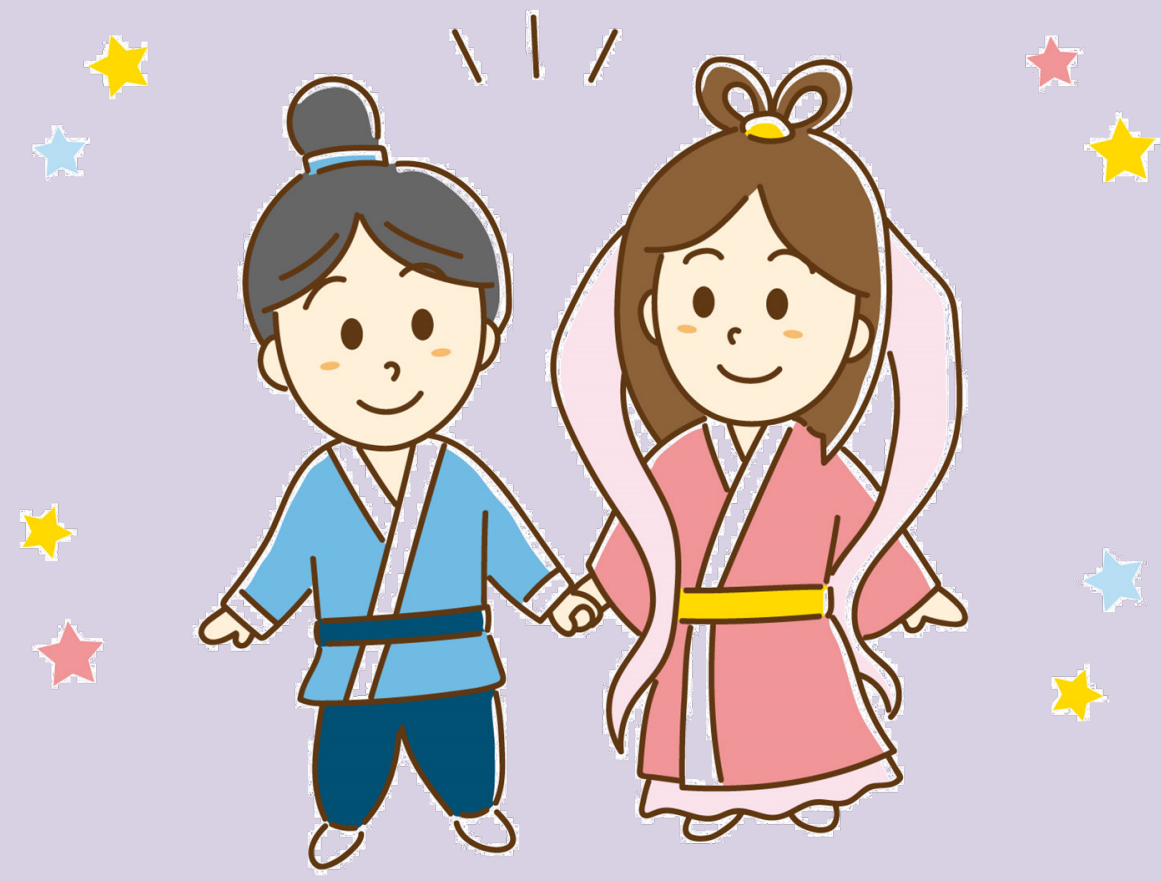


七夕講演会・観望会

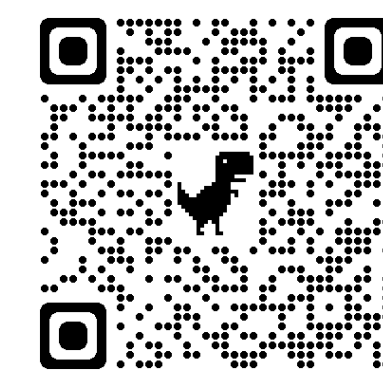


7月8日(金) 18:00～

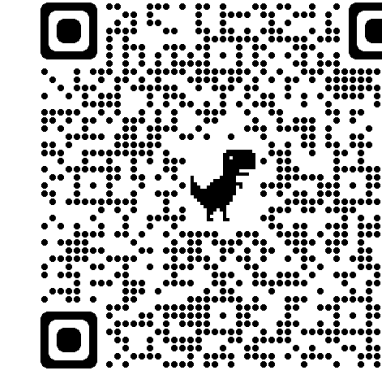
(17:30開場)

大阪公立大学
(中百舌鳥キャンパス)
C1棟 学術交流会館

研究室ウェブサイト



公式ウェブサイト



講演会1 18:00～18:45

澤田-佐藤 聡子

大阪公立大学 大学院

理学研究科

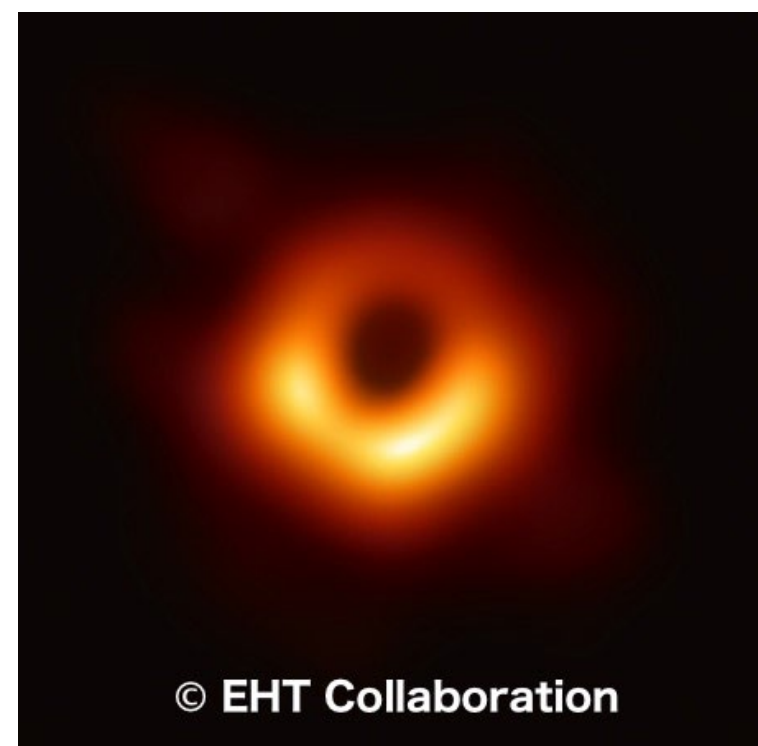
電波天文学研究室 研究員



「電波望遠鏡があばくブラックホールの暗躍」

電波望遠鏡を使って銀河を観測すると、光の望遠鏡で見たものと全く違う銀河の活動的な姿が見えてきます。その姿の原因はなんとブラックホール！ブラックホールは銀河のどこにいるのか？

潜んで何をしているのか？ブラックホールの姿をあばくため、世界中の電波望遠鏡たちが大活躍します。



電波銀河M87のブラックホールの影
とても活発なブラックホールです



VERA望遠鏡と夜空
日本の電波望遠鏡も大活躍中です

講演会2 18:50～19:35

吉野 裕高

大阪公立大学 大学院

理学研究科

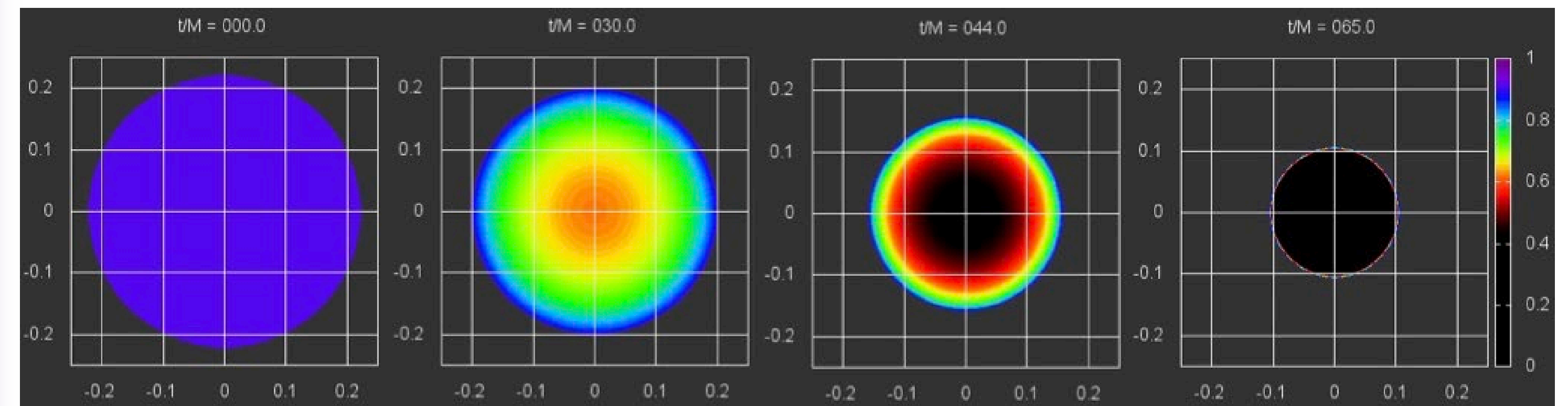
宇宙物理研究室 准教授



「ブラックホールの不思議」

ブラックホールに落ちると出られない？近くでは時間が止まる？別の世界につながっている？ブラックホールはアインシュタインの「相対性理論」によって予言されました。

この理論と観測を合わせて分かってきたこと、そしてまだまだ分かっていないことをご紹介します。



重力崩壊してブラックホールになっていく星の映像です。星の表面からは紫色の光が出ていると仮定しています。最初は「赤方偏移」の影響によって青く見えますが、重力崩壊が始まるとその効果が像の中心付近で強くなり、目では見えない波長の長い電磁波になります。

紹介 19:35～19:45

「超小型人工衛星「ひろがり」の運用結果報告」

大阪公立大学 小型宇宙機システム研究センター (SSSRC)

工学域 海洋システム工学課程2年 山本 航平

4次元シアター

観望会

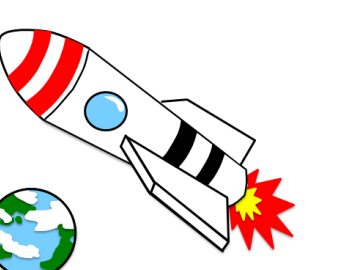
「2022年宇宙の旅」

19:45～20:05

「月と春の大曲線」

A2棟跡地 20:05～20:30

(雨天中止)



タイムスケジュールは変動する可能性があります。

会場までのアクセス



地下鉄御堂筋線 なかもず駅より
徒歩約20分
南海高野線 白鷺駅より
徒歩約15分

大阪公立大学と大阪市博物館機構の
共催による七夕講演会もあります

「暗黒星雲から、生命生存可能な地球型惑星環境圏へ」

・日時 2022年7月31日(日) 14:00～16:00

・会場 大阪市立科学館 多目的室



講師 前澤 裕之
(本学准教授)

詳細はこちら



主催 大阪公立大学 大学院理学研究科 電波天文学研究室
大阪公立大学 宇宙科学技術センター
大阪公立大学 天文部
日本天文学会
共催 天文教育普及研究会
後援 日本学術会議

問い合わせ先

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1-1

大阪公立大学 大学院理学研究科 電波天文学研究室

TEL : 072-254-9726

全国同時七夕講演会



大阪公立大学
Osaka Metropolitan University

・マスク着用など、基本的な感染対策を徹底した上で
ご来場ください。

・感染状況によっては中止となる可能性があります。

感染症対策の詳細については公式ウェブサイトに
記載しています。